

IR資料

【2025年3月期 連結決算補足説明資料】

矢作建設工業株式会社 証券コード1870（東証プライム・名証プレミア）



I

2025年3月期連結決算



2025年3月期連結決算ハイライト

■ 売上高

売上高は1,406億円と前期比208億円の大幅増収となり、3期連続で過去最高を更新

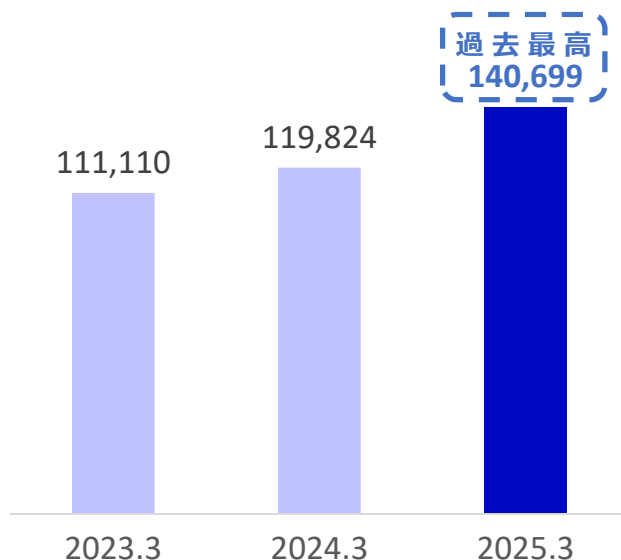
■ 利益

前期に計上した大規模自社開発産業用地の売却益の反動減による影響が大きく、営業利益は86億円と前期比8億円の減益、当期純利益は56億円と8億円の減益

一方、業績予想との比較では、各利益段階ともに予想を上回って着地

売上高 (百万円)

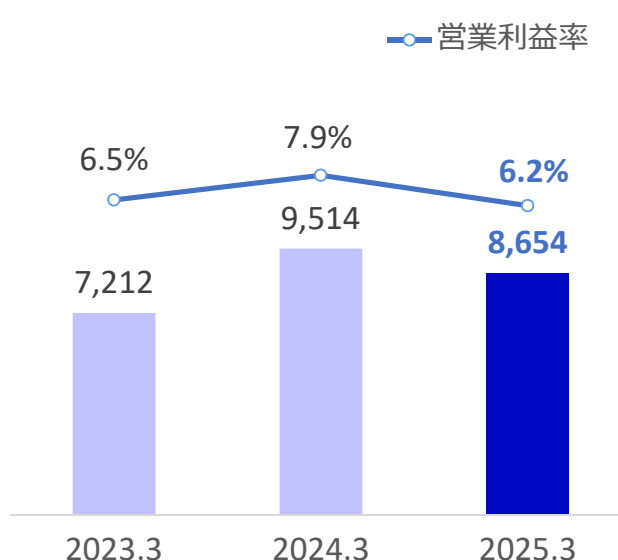
前期比**208億円増 (17.4%増)**



【ご参考】前期までの過去最高値：2024年3月期 119,824百万円

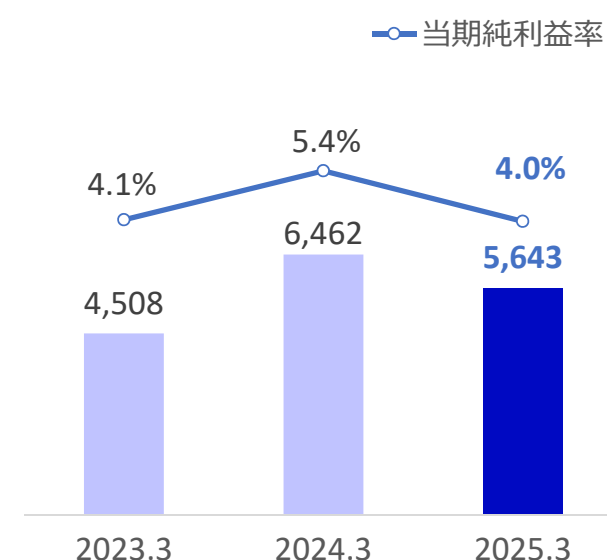
営業利益 (百万円)

前期比**8億円減 (9.0%減)**



当期純利益 (百万円)

前期比**8億円減 (12.7%減)**



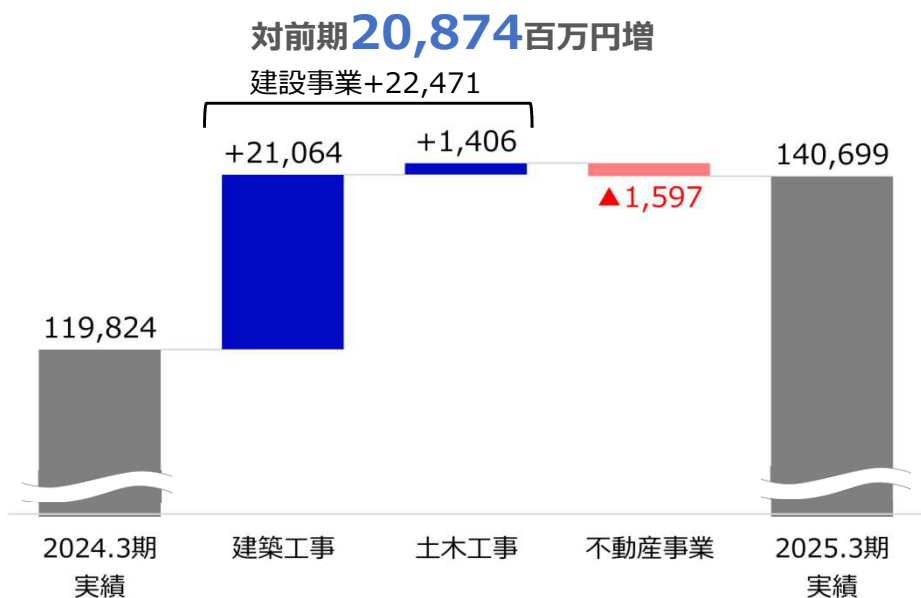
2025年3月期連結決算概要

	2023.3 実績	2024.3 実績	2025.3 実績	(単位：百万円)	
				前期比 増減額	増減率
売上高	111,110	119,824	140,699	20,874	17.4%
完成工事高	94,265	96,230	118,701	22,471	23.4%
不動産事業等売上高	16,845	23,594	21,997	▲1,597	▲6.8%
売上総利益	16,590	19,797	19,416	▲380	▲1.9%
(売上総利益率)	(14.9%)	(16.5%)	(13.8%)		▲2.7pt
完成工事総利益	10,822	9,584	10,836	1,251	13.1%
不動産事業等総利益	5,768	10,212	8,580	▲1,631	▲16.0%
販売費及び一般管理費	9,377	10,282	10,762	479	4.7%
営業利益	7,212	9,514	8,654	▲859	▲9.0%
(営業利益率)	(6.5%)	(7.9%)	(6.2%)		▲1.7pt
経常利益	7,259	9,588	8,616	▲971	▲10.1%
(経常利益率)	(6.5%)	(8.0%)	(6.1%)		▲1.9pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,508	6,462	5,643	▲818	▲12.7%
(当期純利益率)	(4.1%)	(5.4%)	(4.0%)		▲1.4pt

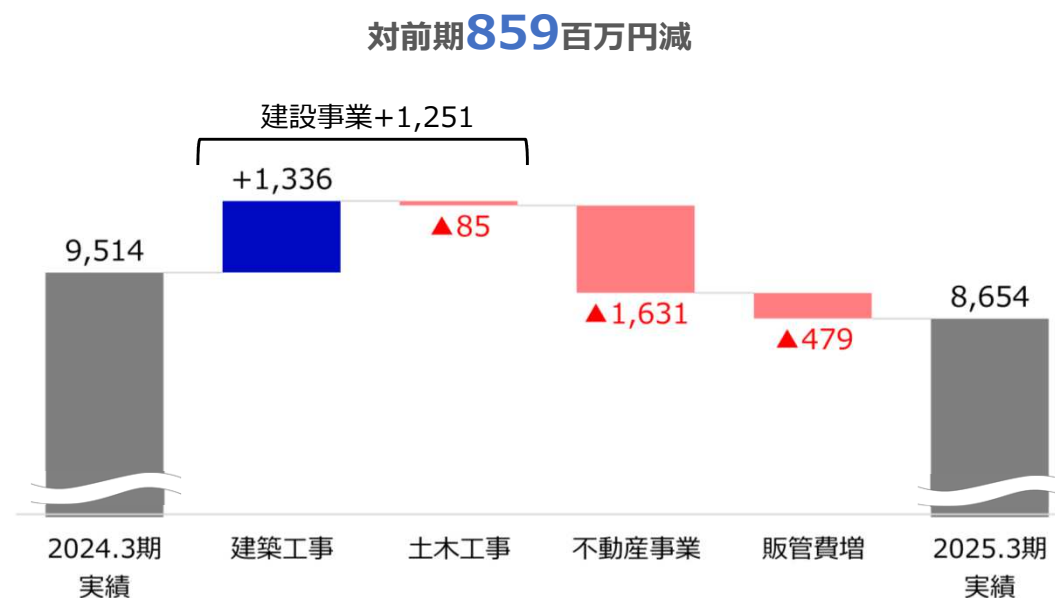
売上高・営業利益増減要因（対前期実績）

- **売上高**・・・建設事業が大きく伸長したことで前期比208億円の大幅増収となり、前期に引き続き過去最高を更新
 - 建設事業：大型物流施設工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比224億円の大幅増収
 - 不動産事業：前期に計上した大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクト1号宅地）売却に係る利益の反動減の影響から、前期比15億円の減収
- **利益**・・・営業利益は前期比8億円の減益
 - 建設事業：増収効果により、前期比12億円の増益
 - 不動産事業：売上高同様、前期に計上した大府東海開発プロジェクト1号宅地売却に係る利益の反動減の影響から、前期比16億円の減益
 - 販管費：給与水準引き上げなどの人財投資の増加、広告宣伝費などの経費の増加もあり、前期比4億円の増加

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



業績予想との比較

(単位：百万円)

	2025.3	2025.3	予想比	
	予想	実績	増減額	達成率
売上高	140,000	140,699	699	100.5%
完成工事高	119,000	118,701	▲298	99.7%
不動産事業等売上高	21,000	21,997	997	104.7%
売上総利益	18,900	19,416	516	102.7%
(売上総利益率)	(13.5%)	(13.8%)		0.3pt
完成工事総利益	10,600	10,836	236	102.2%
不動産事業等総利益	8,300	8,580	280	103.4%
販売費及び一般管理費	10,700	10,762	62	100.6%
営業利益	8,200	8,654	454	105.5%
(営業利益率)	(5.9%)	(6.2%)		0.3pt
経常利益	8,200	8,616	416	105.1%
(経常利益率)	(5.9%)	(6.1%)		0.2pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,400	5,643	243	104.5%
(当期純利益率)	(3.9%)	(4.0%)		0.1pt

売上高・営業利益増減要因（対業績予想）

■ 売上高・・・予想を6億円上回る

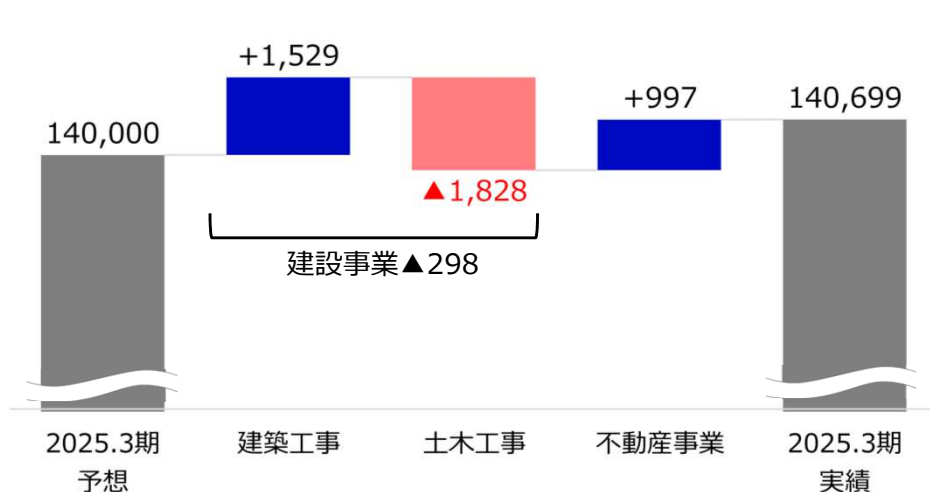
- 建設事業：一部の土木工事において、受注時期の遅れや工程の見直しに伴う施工の進捗遅れが発生したことにより、予想を3億円下回る
- 不動産事業：分譲マンション事業、不動産販売ともに計画対比で好調に推移し、予想を9億円上回る

■ 利益・・・営業利益は予想を4億円上回る

- 建設事業：建築工事の増収効果に加え、一部の土木工事において原価低減や変更増額による利益の獲得もあり、予想を上回る
- 不動産事業：増収効果により、予想を上回る
- 販管費：概ね計画通り

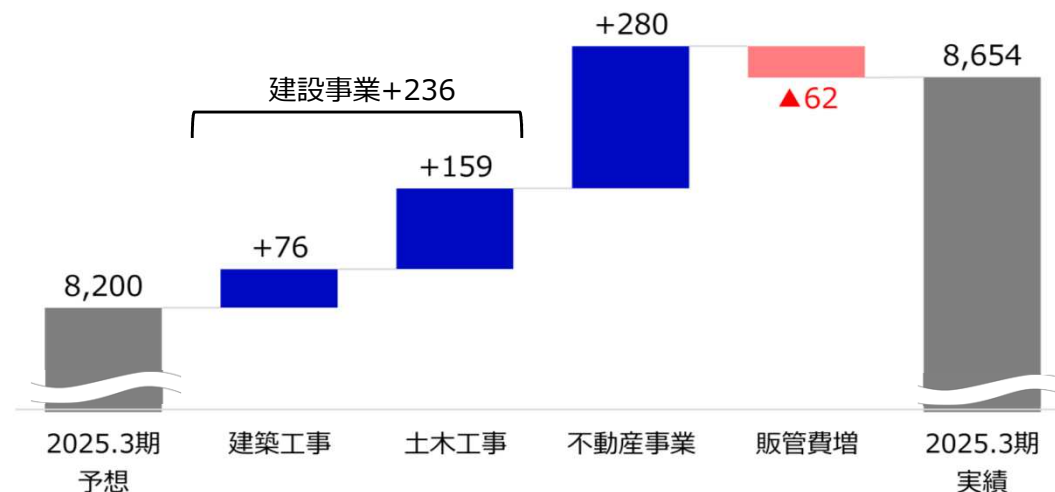
売上高（百万円）

対前期**699**百万円増



営業利益（百万円）

対前期**454**百万円増



〈セグメント別概況〉 建築事業

■ 受注高

中部圏に加え、首都圏においても大型建築工事を受注したことにより、受注高は前期に引き続き高水準で推移

■ 売上高

大型物流施設工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比210億円の大幅増収

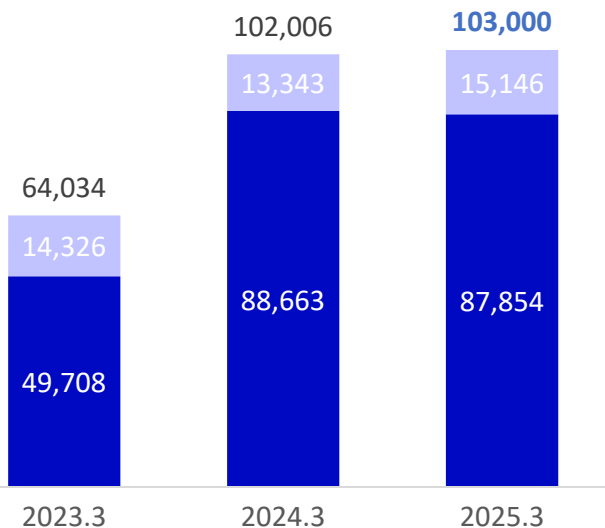
■ 売上総利益

増収効果により、前期比13億円の増益

用途別受注高 (百万円)

前期比9億円増 (1.0%増) ↗

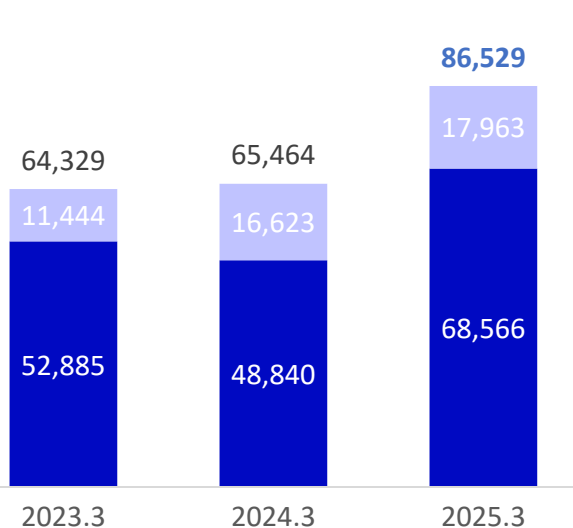
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



用途別売上高 (百万円)

前期比210億円増 (32.2%増) ↗

■ マンション工事 ■ 一般建築工事



売上総利益 (百万円)

前期比13億円増 (40.0%増) ↗



〈セグメント別概況〉 土木事業

■ 受注高

民間工事を中心に複数の大型工事を受注したことにより、前期比102億円の大幅増加

■ 売上高

鉄道高架化工事などの民間工事が伸長し、前期比14億円の増収

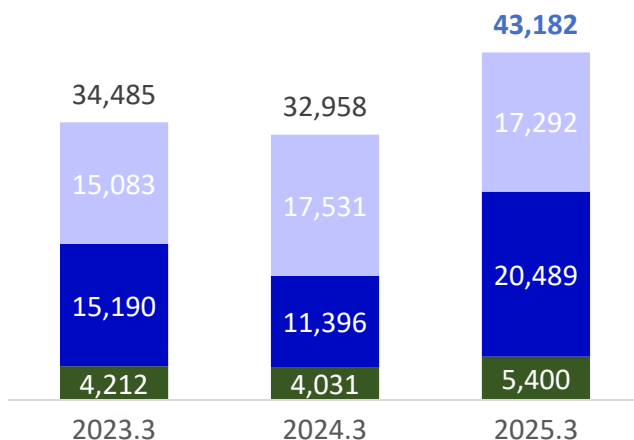
■ 売上総利益

増収効果はあったものの、前期に一部大型工事において大幅な変更増額による利益の獲得があった影響から、概ね前期並み

用途別受注高 (百万円)

前期比**102億円増 (31.0%増)**

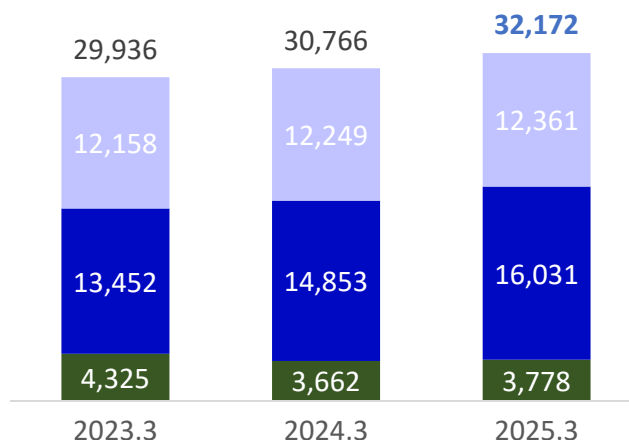
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



用途別売上高 (百万円)

前期比**14億円増 (4.6%増)**

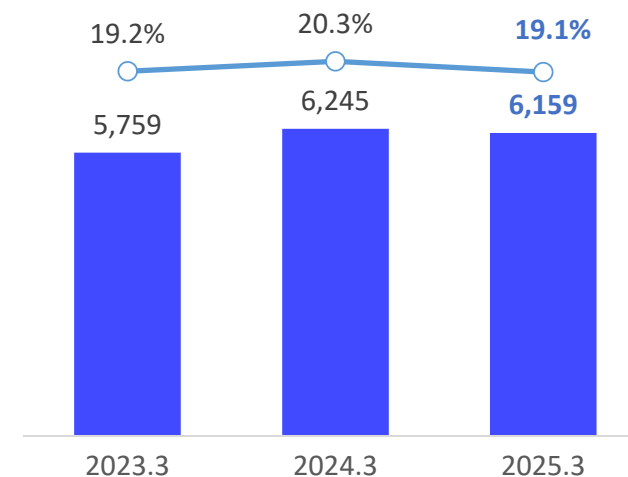
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



売上総利益 (百万円)

前期比**0.8億円減 (1.4%減)**

○ 売上総利益率



※ PW工事：当社独自技術である地山補強土工法の「パンウォール工法」による工事

〈セグメント別概況〉 不動産事業

■ 売上高

当期においても大規模自社開発産業用地の売却があったものの、前期に売却した大府東海開発プロジェクト1号宅地の規模には至らず、前期比15億円の減収

■ 売上総利益

売上高同様、前期に計上した大府東海開発プロジェクト1号宅地売却の影響から、前期比16億円の減益

■ 分譲マンション事業

当期に完成引渡しを迎えた物件の販売が好調であったことにより、前期比23戸の増加

売上高内訳 (百万円)

売上総利益 (百万円)

分譲マンション販売戸数 (戸)

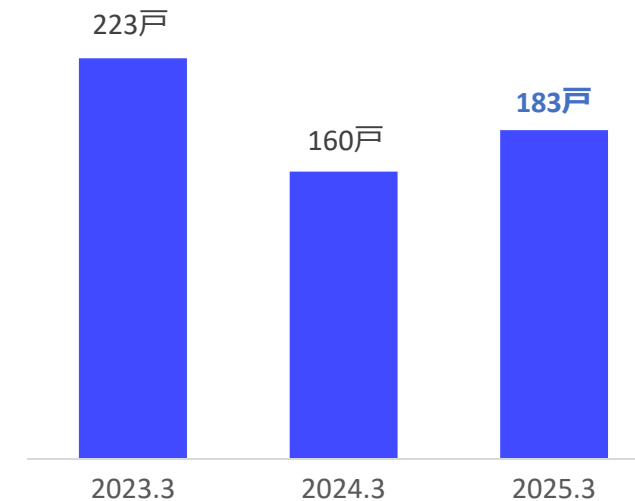
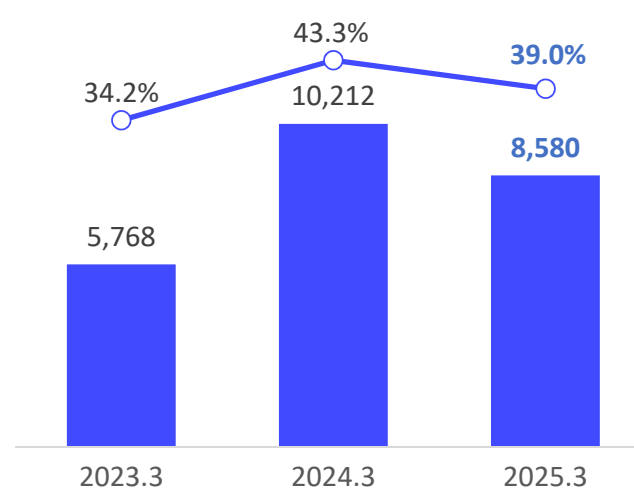
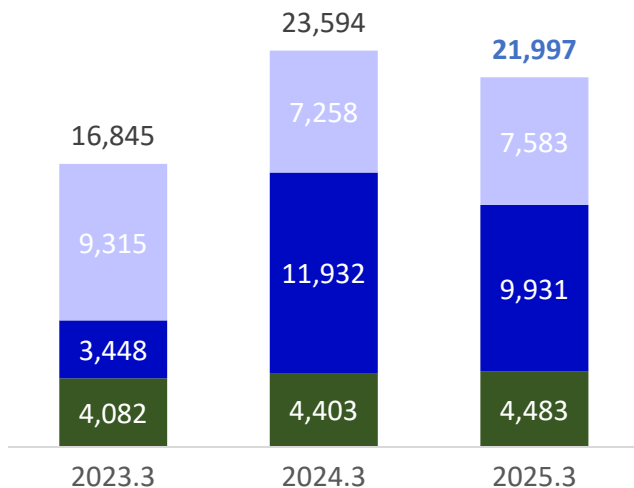
前期比15億円減 (6.8%減)

前期比16億円減 (16.0%減)

前期比23戸増 (14.4%増)

■ 分譲マンション事業 ■ 不動産販売 ■ その他

○ 売上総利益率



※その他には、賃貸事業・流通事業・建築事業に含まれない子会社の事業等を含む。

受注高、次期繰越高総括

■ 受注高

建築工事、土木工事ともに複数の大型工事を受注したことにより、好調であった前期をさらに上回る112億円の増加となり、4期連続で過去最高を更新

■ 次期繰越高

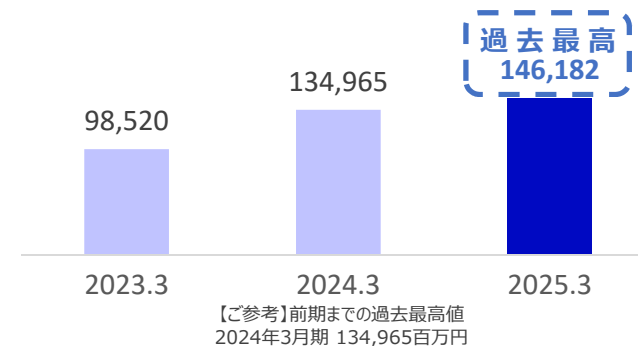
受注高が大きく増加したことで、今後の売上高に寄与する次期繰越高は1,639億円と前期比258億円の大幅増加となり、4期連続で過去最高を更新

□ 受注高	(単位：百万円)			前期比	
	2023.3 実績	2024.3 実績	2025.3 実績	増減額	増減率
建築工事	64,034	102,006	103,000	994	1.0%
土木工事	34,485	32,958	43,182	10,223	31.0%
合計	98,520	134,965	146,182	11,217	8.3%

□ 次期繰越高	(単位：百万円)			前期比	
	2023.3 実績	2024.3 実績	2025.3 実績	増減額	増減率
建築工事	66,629	103,171	119,643	16,471	16.0%
土木工事	32,812	35,005	44,342	9,336	26.7%
合計	99,442	138,177	163,985	25,807	18.7%

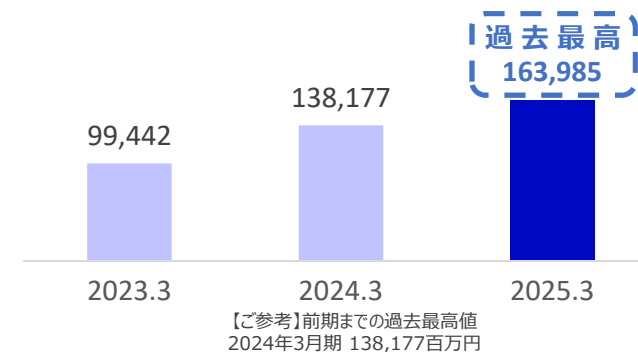
受注高 (百万円)

前期比**112**億円増 (8.3%増) 



次期繰越高 (百万円)

前期比**258**億円増 (18.7%増) 



連結財政状態

- **総資産**：手元資金の保有水準の見直しにより現金預金が減少した一方、建設事業の施工高の伸長に伴う売上債権の増加により、総資産は182億円の増加
- **負債**：法人税の支払いなどによりその他流動負債が減少した一方、建設事業の施工進捗に伴う協力業者への支払いを借入金で賄ったことで有利子負債が増加し、負債合計は159億円の増加
- **純資産**：利益剰余金の計上などにより、純資産は22億円の増加

□ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		2024.3 実績	2025.3 実績	増減
流動資産	現金預金	19,987	15,669	▲4,318
	売上債権	39,657	58,217	18,559
	未成工事支出金	3,251	3,320	69
	販売用不動産	21,016	21,978	961
	その他	3,997	9,006	5,009
	計	87,910	108,192	20,282
固定資産	有形固定資産	27,148	25,138	▲2,009
	無形固定資産	728	763	35
	投資その他の資産	10,213	10,125	▲88
	計	38,090	36,027	▲2,062
資産合計		126,000	144,220	18,220

負債の部		2024.3 実績	2025.3 実績	増減
流動負債	仕入債務	11,112	14,553	3,440
	短期借入金	14,100	26,600	12,500
	未成工事受入金	8,853	10,348	1,495
	その他	9,642	3,971	▲5,670
	計	43,708	55,473	11,765
固定負債	長期借入金	8,300	12,000	3,700
	その他	7,453	7,911	458
計		15,753	19,911	4,158
負債合計		59,461	75,384	15,923
純資産		66,538	68,835	2,296
負債・純資産合計		126,000	144,220	18,220

□ 主要経営指標

	2021.3実績	2022.3実績	2023.3実績	2024.3実績	(単位：百万円) 2025.3実績
総資産経常利益率 (ROA)	6.3%	5.0%	5.9%	7.5%	6.4%
自己資本当期純利益率 (ROE)	6.2%	8.6%	7.6%	10.2%	8.3%
1株当たり当期純利益 (EPS)	75.86円	112.18円	104.83円	150.23円	131.17円
自己資本比率	42.1%	49.4%	46.5%	52.8%	47.7%
有利子負債	42,940	30,400	31,900	22,400	38,600
NET有利子負債 (※)	20,848	8,388	9,078	2,413	22,931

(※) NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金預金

□ 連結キャッシュ・フロー計算書

	2021.3実績	2022.3実績	2023.3実績	2024.3実績	(単位：百万円) 2025.3実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 6,757	15,841	4,152	10,235	▲ 17,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 220	▲ 1,549	▲ 3,069	▲ 1,181	▲ 255
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,356	▲ 14,351	▲ 253	▲ 11,857	13,149

II

2026年3月期通期業績予想

2026年3月期通期予想ハイライト

■ 売上高

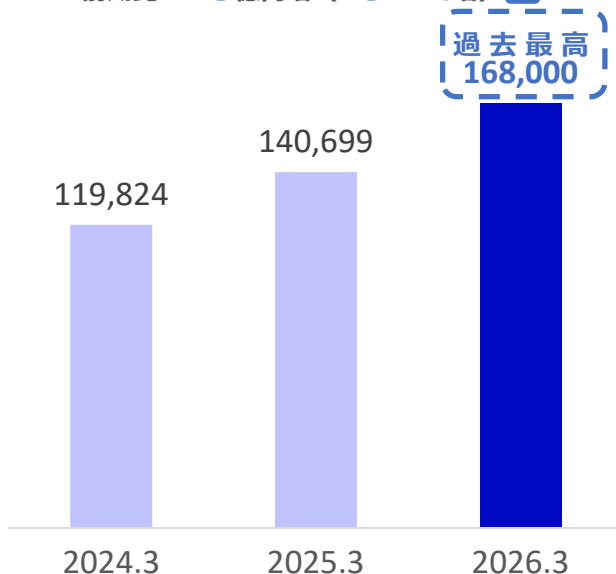
複数の大型建築工事の施工進捗により、売上高は1,680億円と、4期連続で過去最高を更新する見込み

■ 利益

建設事業の増収効果により、営業利益は100億円、当期純利益は66億円となる見通しで、各利益段階で過去最高を更新するとともに、中期経営計画の数値目標「営業利益100億円」の達成を見込む

売上高 (百万円)

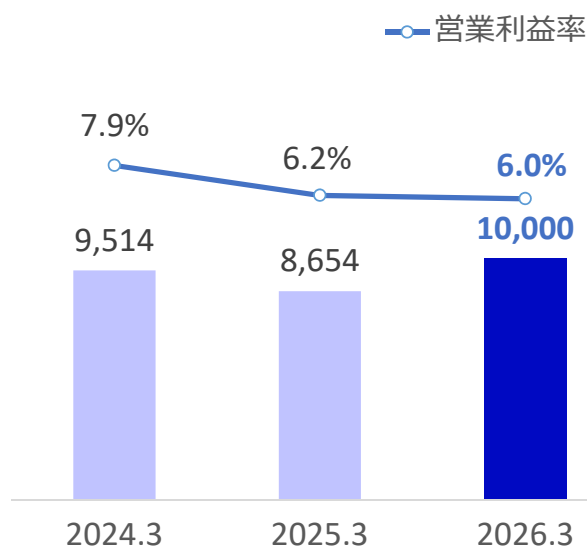
前期比273億円増 (19.4%増)



【ご参考】前期までの過去最高値：2024年3月期 119,824百万円

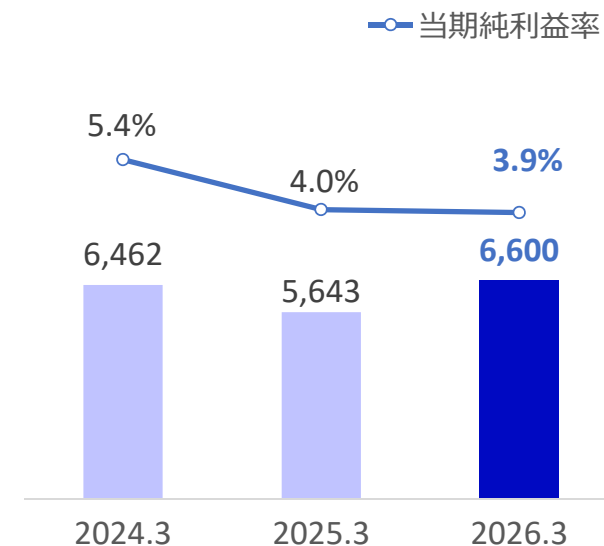
営業利益 (百万円)

前期比13億円増 (15.5%増)



当期純利益 (百万円)

前期比9億円増 (16.9%増)



2026年3月期通期予想について

2026年3月期の通期予想は、売上高、各利益段階ともに過去最高となる
 売上高1,680億円（前期比273億円増）、営業利益100億円（同13億円増）、当期純利益66億円（同9億円増）を見込む

□ 2026年3月期連結予想

（単位：百万円）

	2025.3	2026.3	前期比（通期）		2024.9	2025.9	前期比（中間）	
	実績	通期予想	増減額	増減率	中間実績	中間予想	増減額	増減率
売上高	140,699	168,000	27,300	19.4%	58,760	88,000	29,239	49.8%
完成工事高	118,701	150,000	31,298	26.4%	49,581	78,000	28,418	57.3%
不動産事業等売上高	21,997	18,000	▲3,997	▲18.2%	9,179	10,000	820	8.9%
売上総利益	19,416	21,500	2,083	10.7%	6,421	11,300	4,878	76.0%
（売上総利益率）	(13.8%)	(12.8%)		▲1.0pt	(10.9%)	(12.8%)		1.9pt
完成工事総利益	10,836	15,000	4,163	38.4%	3,409	8,000	4,590	134.6%
不動産事業等総利益	8,580	6,500	▲2,080	▲24.2%	3,011	3,300	288	9.6%
販売費及び一般管理費	10,762	11,500	737	6.9%	5,134	5,300	165	3.2%
営業利益	8,654	10,000	1,345	15.5%	1,286	6,000	4,713	366.2%
（営業利益率）	(6.2%)	(6.0%)		▲0.2pt	(2.2%)	(6.8%)		4.6pt
経常利益	8,616	9,900	1,283	14.9%	1,325	6,000	4,674	352.5%
（経常利益率）	(6.1%)	(5.9%)		▲0.2pt	(2.3%)	(6.8%)		4.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,643	6,600	956	16.9%	967	4,100	3,132	323.7%
（当期純利益率）	(4.0%)	(3.9%)		▲0.1pt	(1.6%)	(4.7%)		3.1pt

2026年3月期通期予想（セグメント別）

（単位：百万円）

	2025.3 実績	2026.3 通期予想	前期比（通期）		2024.9 中間実績	2025.9 中間予想	前期比（中間）	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	140,699	168,000	27,300	19.4%	58,760	88,000	29,239	49.8%
完成工事高	118,701	150,000	31,298	26.4%	49,581	78,000	28,418	57.3%
建築工事	86,529	111,600	25,070	29.0%	35,795	63,000	27,204	76.0%
土木工事	32,172	38,400	6,227	19.4%	13,785	15,000	1,214	8.8%
不動産事業等売上高	21,997	18,000	▲3,997	▲18.2%	9,179	10,000	820	8.9%
売上総利益	19,416	21,500	2,083	10.7%	6,421	11,300	4,878	76.0%
完成工事総利益	10,836	15,000	4,163	38.4%	3,409	8,000	4,590	134.6%
（完成工事総利益率）	(9.1%)	(10.0%)		0.9pt	(6.9%)	(10.3%)		3.4pt
建築工事	4,676	8,600	3,923	83.9%	1,218	6,000	4,781	392.4%
（建築工事利益率）	(5.4%)	(7.7%)		2.3pt	(3.4%)	(9.5%)		6.1pt
土木工事	6,159	6,400	240	3.9%	2,191	2,000	▲191	▲8.7%
（土木工事利益率）	(19.1%)	(16.7%)		▲2.4pt	(15.9%)	(13.3%)		▲2.6pt
不動産事業等総利益	8,580	6,500	▲2,080	▲24.2%	3,011	3,300	288	9.6%
（不動産事業等総利益率）	(39.0%)	(36.1%)		▲2.9pt	(32.8%)	(33.0%)		0.2pt

売上高・営業利益増減要因（対2025.3期実績）

■ 売上高

建設事業：複数の大型建築工事の施工が進捗することにより、前期実績を大きく上回る見込み

不動産事業：分譲マンション事業において、新規供給戸数の減少から販売戸数が減少することで、前期実績を下回る見込み

■ 利益

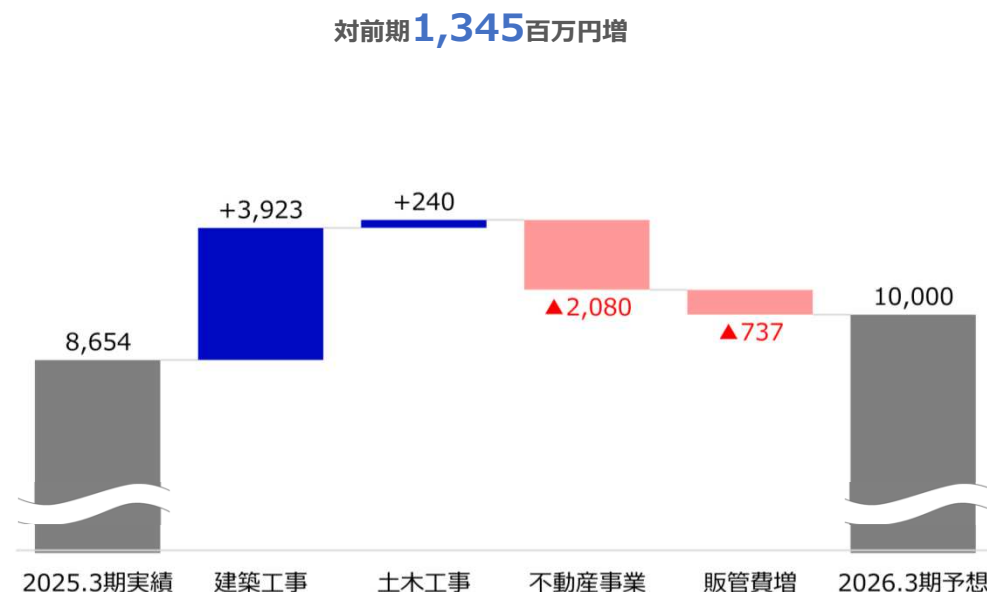
建設事業：建築工事、土木工事ともに増収となることで、前期実績を大きく上回る見込み

不動産事業：減収の影響により、前期実績を下回る見込み

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



中期経営計画進捗状況（2021年度～2025年度）

■ 売上高

不動産開発に伴う建築受注の増加や、大型工事への積極的な取り組みにより、売上高は中期経営計画の数値目標（1,300億円）を大幅に上回る見込み

■ 利益

計画策定時には想定していなかった資材費や労務費の急騰があったものの、大幅な増収効果により、営業利益は中期経営計画の数値目標（100億円）を確保する見込み

◆ 中期経営計画最終年度(2026.3)目標

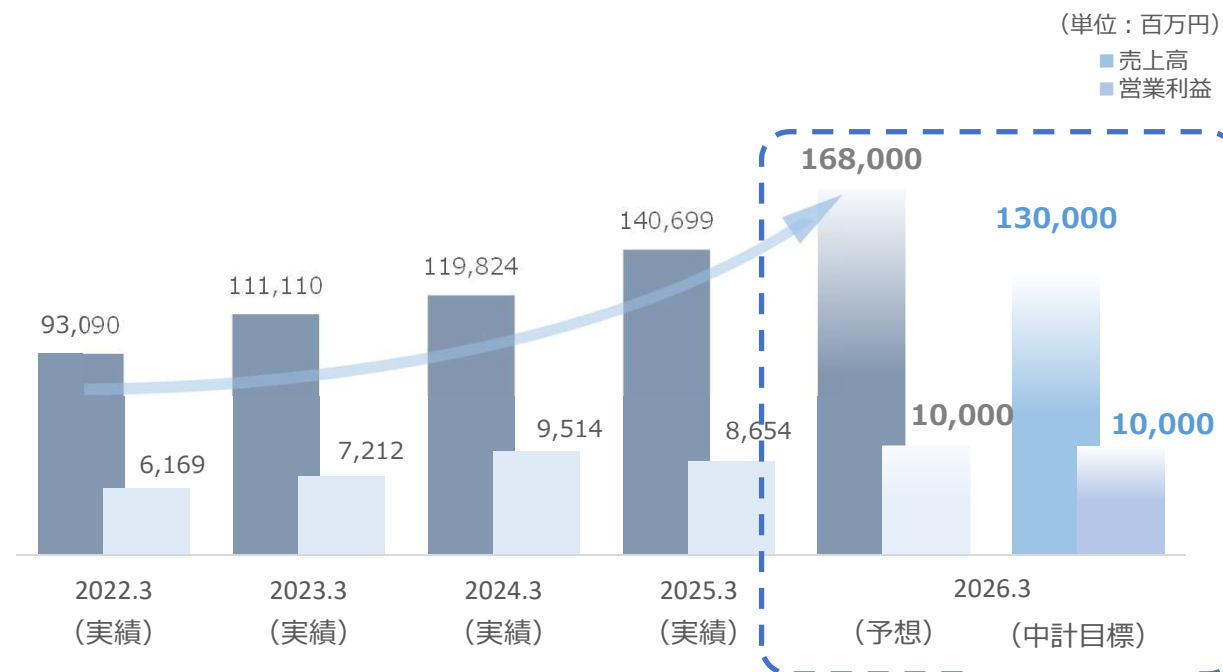
□ 連結売上高 : 1,300億円

□ 連結営業利益 : 100億円

◆ 2026.3期通期予想

□ 連結売上高 : 1,680億円

□ 連結営業利益 : 100億円



配当方針の変更（DOE・累進配当導入）について

- 株主還元方針「継続的かつ安定的な株主還元」を一層明確にするため、短期的な利益変動の大きな局面においても、単年度の業績の影響を受けにくい「自己資本配当率（DOE）」を導入し、累進配当を基本とする方針に変更する
- 自己資本配当率（DOE）の目標値は5%以上に設定

株主還元方針（変更なし）

経営基盤の強化と企業価値の向上に向けて、長期的な視点に立って株主資本の充実に努めるとともに、企業収益の配分については、継続的かつ安定的な株主還元を実施することを基本方針とする。

配当方針（目標）の変更

変更前	配当性向 30%以上
変更後	自己資本配当率（DOE）5%以上、累進配当

※自己資本配当率（DOE）= 年間配当額 / 期中平均 自己資本

変更時期

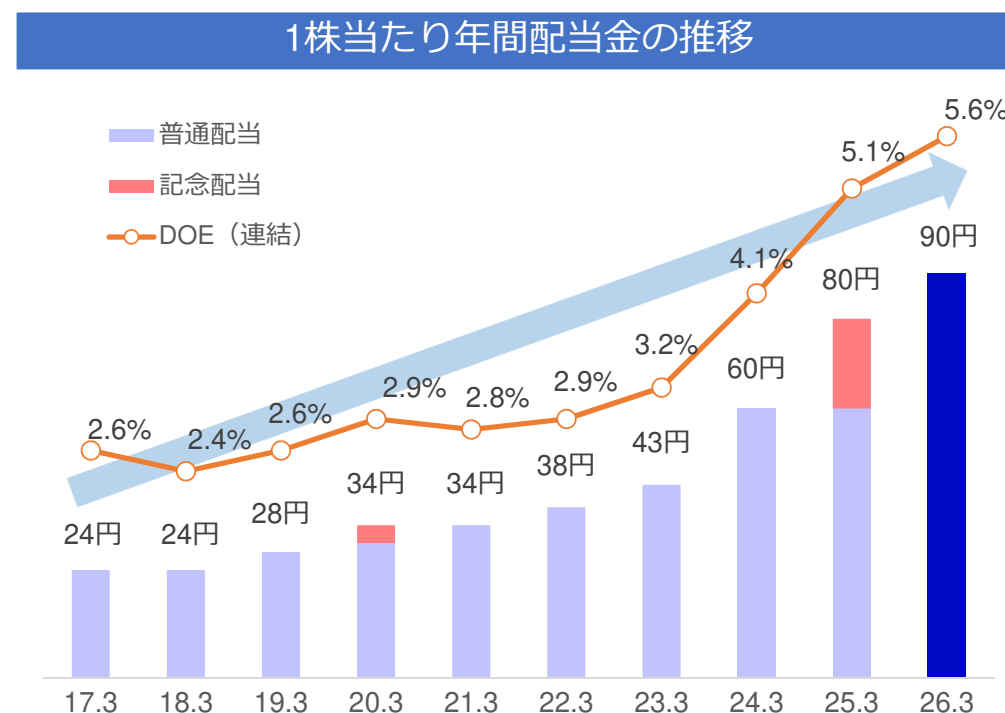
2026年3月期より適用。

配当について

- 2025年3月期の期末配当金は公表値通り40円（普通配当30円、創立75周年記念配当10円）とし、実施済み中間配当金40円（同上）と合わせ、年間配当金は80円とする
- 2026年3月期の年間配当金予想は普通配当90円（前期比10円の増配 ※）とし、13期連続での減配なし、5期連続の増配を見込む
※2025年3月期（前期）の1株当たり配当金80円には記念配当20円が含まれており、普通配当ベースでは30円の増配

	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3 (予想)
中間配当金	17円	19円	30円	40円	45円
期末配当金	21円	24円	30円	40円	45円
年間配当金	38円	43円	60円	80円 (※)	90円
配当性向	33.9%	41.0%	39.9%	61.0%	58.7%
自己資本配当率 (DOE)	2.9%	3.2%	4.1%	5.1%	5.6%

(※) 創立75周年記念配当20円を含む。



III

参考情報

1.連結業績の推移（5年分）並びに計画

(単位：百万円)

	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3計画
売上高	106,615	93,090	111,110	119,824	140,699	168,000
(対前期比増減率)	(18.3%)	(▲12.7%)	(19.4%)	(7.8%)	(17.4%)	(19.4%)
営業利益	7,362	6,169	7,212	9,514	8,654	10,000
(対前期比増減率)	(▲5.2%)	(▲16.2%)	(16.9%)	(31.9%)	(▲9.0%)	(15.5%)
経常利益	7,445	6,174	7,259	9,588	8,616	9,900
(対前期比増減率)	(▲4.9%)	(▲17.1%)	(17.6%)	(32.1%)	(▲10.1%)	(14.9%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,292	4,842	4,508	6,462	5,643	6,600
(対前期比増減率)	(▲36.2%)	(47.1%)	(▲6.9%)	(43.4%)	(▲12.7%)	(16.9%)

□ <ご参考>

過去最高値

◎ 売上高	2025年3月期 【ご参考】前期までの過去最高値 2024年3月期	140,699百万円 119,824百万円
◎ 営業利益	2024年3月期	9,514百万円
◎ 経常利益	2024年3月期	9,588百万円
◎ 親会社株主に帰属する 当期純利益	2024年3月期	6,462百万円

2.連結子会社の状況（2025年3月31日現在）

名称	住所	資本金 (百万円)	決算期	事業内容	当期の 売上高 (百万円)
矢作地所(株)	名古屋市東区	800	3月	分譲マンション事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産流通事業	9,899
矢作ビル&ライフ(株)	名古屋市東区	400	3月	マンション・ビル管理事業、建築事業	5,214
ヤハギ緑化(株)	名古屋市東区	100	3月	緑化事業、ゴルフ場コース管理事業	3,243
(株)テクノサポート	名古屋市東区	50	3月	パンウォール（補強土壁工法）事業、ピタコラム（外付耐震補強工法）事業、建設工事、技術開発、試験体製作	1,295
ヤハギ道路(株)	愛知県豊田市	300	3月	舗装事業、土木事業、アスファルト合材製造販売事業、リサイクル事業	7,958
南信高森開発(株)	長野県下伊那郡 高森町	50	3月	ゴルフ場経営（高森カントリークラブ）	309
北和建設(株)	京都市下京区	85	3月	建築事業	6,926
南知多未来 パートナーズ(株)	愛知県知多郡 南知多町	30	3月	師崎港観光センター周辺整備運営事業	695

(注) 1. 矢作地所(株)、矢作ビル&ライフ(株)、ヤハギ緑化(株)、(株)テクノサポート、ヤハギ道路(株)、南信高森開発(株)、北和建設(株)の7社は、全て矢作建設工業(株)の100%子会社である（南信高森開発(株)については、間接所有分が69%である）。

2. 南知多未来パートナーズ(株)は、議決権の66.7%を間接所有する矢作建設工業(株)の子会社である。

3.受注高、売上高、次期繰越高（連結）

（単位：百万円）

区分	受注高				売上高				次期繰越高					
	2024.3	2025.3	前期比		2024.3	2025.3	前期比		2024.3	2025.3	前期比			
	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率		
工事	建築	官庁	1,717	20	▲ 1,697	–	113	1,613	1,499	–	1,632	39	▲ 1,592	▲97.6%
		民間	100,288	102,979	2,691	2.7%	65,350	84,916	19,565	29.9%	101,539	119,603	18,063	17.8%
		計	102,006	103,000	994	1.0%	65,464	86,529	21,064	32.2%	103,171	119,643	16,471	16.0%
	土木	官庁	17,531	17,292	▲ 238	▲1.4%	12,249	12,361	112	0.9%	18,147	23,077	4,930	27.2%
		民間	15,427	25,889	10,462	67.8%	18,516	19,810	1,293	7.0%	16,858	(22,937) 21,264	4,406	26.1%
		計	32,958	43,182	10,223	31.0%	30,766	32,172	1,406	4.6%	35,005	(46,015) 44,342	9,336	26.7%
	合計	官庁	19,249	17,312	▲ 1,936	▲10.1%	12,363	13,975	1,611	13.0%	19,779	23,117	3,337	16.9%
		民間	115,716	128,869	13,153	11.4%	83,867	104,726	20,859	24.9%	118,397	(142,541) 140,868	22,470	19.0%
		合計	134,965	146,182	11,217	8.3%	96,230	118,701	22,471	23.4%	138,177	(165,658) 163,985	25,807	18.7%
	不動産事業等						23,594	21,997	▲ 1,597	▲6.8%				
合計						119,824	140,699	20,874	17.4%					

（注）経済情勢の変化等により事業計画が変更、中止となった工事（受注高1,673百万円）について、次期繰越高から控除している。（）内は控除前の金額である。

4.主な完成工事・自社開発完成物件

■ 主な完成工事



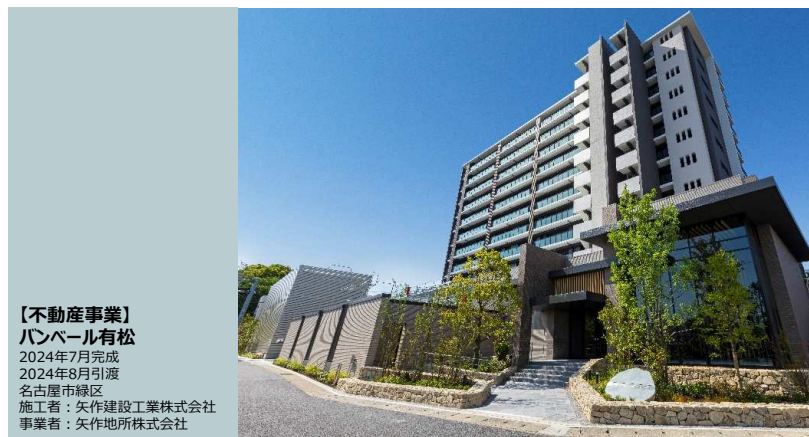
■ 主な完成工事



■ 主な完成工事



■ 主な自社開発完成物件



memo

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。